

Japan

424-620

J 125

47608

JA 0088620
AUG 1976

ED

⑩ 日本国特許庁

公開特許公報

2000 円

昭和50年1月31日

特許庁長官 西島英三 敬 告

1. 発明の名称

人体の健康の維持、疾病に対して効能を有する
鉄イオン等の製造法

2. 発明者

住所 特許出願人と同じ
氏名

3. 特許出願人

①特開昭 51-88620

②公開日 昭51(1976) 8. 3

③特願昭 50-12224

④出願日 昭50(1975) 1. 31

審査請求 有 (全2頁)

庁内整理番号

7176 42

7127 22

| | | | |
|--|--------------------------------------|--|----|
| 71167X/38 FURUKAWA 31.01.75-JA-012320 (03.08.76) A61k Conc ion soln prepn for synergistic treatment of cancer etc. - by crushing and exsoln of mineral rock giving ferrous, arsenic and sulphate ions | 806 FURU/31.01.75 *J5 1088-620 | B4-D2, B5-A1A, B5-B1B, B5-C5, B12-C9, B12-D1,D2,D9), B12-F1,F5), B12-G7, B12-H5, B12-K2 to eliminate Fe tannate stain, when the soln. is used in admixture with tannin-containing drink such as tea or black tea. | 43 |
| <p>Process for prepg. conc. ion soln. effective for maintaining human health (esp. to cancer) involves crushing and oxidn. of rock contg. Fe, As and FeS, stirring in water, allowing to stand, and collecting the resulting supernatant contg. ferrous, arsenic and sulphate ions, followed by filtration. The prod. can cure cancerous disease of stomach, duodenum, uterus, lung, pancreas, etc. and is effective to diabetes mellitus, heart disease, hypertension, asthma, neuralgia, rheumatism, etc. The effect is speculated to be caused by synergism of the ions.</p> <p>EXAMPLE Melanterite (Miyagi Pref., Kurihara County, Kurihama Town) containing Fe, As and FeS is pulverized to pass through 300 mesh sieve, oxidized by air at well-ventilated place for 6-8 months, stirred in admixture with ca. 3-times volume distilled water for 20-24 hrs., and allowed to stand. After removing suspended dust on the water surface, the supernatant is filtered to yield conc. ion soln. The effect of the soln. cannot be decreased by adding sodium bicarbonate</p> | | | |

2. 特許請求の範囲

鉄(Ⅱ)と砒素(Ⅲ)と硫化鉄(Ⅱ)を含む岩石を粉砕して酸化させ、これを水溶液中に投入して攪拌した後、静置させて二価の鉄イオン(Fe²⁺)とヒ酸の砒素イオン(AsO₄³⁻)と硫酸イオン(SO₄²⁻)を含む上澄液を採取し、この上澄液を濾過したことを特徴とする人体の健康の維持、疾病に対して効能を有する鉄イオン等の製造法。

3. 発明の詳細を説明

本発明は人体の健康の維持に欠くことができない鉄イオンを含むした鉄イオン等の製造法に関する。

本発明等は多量存在するメランテライト中、人体の健康の維持に際して効能を有する鉄イオンとして二価の鉄イオン(Fe²⁺)とヒ酸の砒素イオン(AsO₄³⁻)と硫酸イオン(SO₄²⁻)とを

製造する二価の鉄イオン(Fe²⁺)とヒ酸の砒素イオン(AsO₄³⁻)と硫酸イオン(SO₄²⁻)を含む岩石を粉砕して酸化させ、これを水溶液中に投入して攪拌した後、静置させて二価の鉄イオン(Fe²⁺)とヒ酸の砒素イオン(AsO₄³⁻)と硫酸イオン(SO₄²⁻)を含む上澄液を採取し、この上澄液を濾過して鉄イオン等を製造する方法である。

このようにして製造された鉄イオン等を次の例、或いは飲料水等に添加して服用したとる、胃癌、十二指腸癌、子宮癌、肺癌、肝癌、腎臓癌等の癌が完治し、しかも糖尿病、心臓病、高血圧、喘息、神経痛、リウマチ等にも効能を有することが認められた。また、この鉄イオン等を鉄

424-620

住所 東京都大田区西蒲田6丁目9番1号
 氏名 吉川 雅 明
 代理人
 住所 東京都大田区西蒲田34番地 7F TEL (03) 358-1081
 氏名 (特許) 安元 興 一
 電話 (03) 358-80

②日本分類

10 C 21
 10 H 24

③Int.Cl:

A 61 K 7 / 00

5 添付書類の目録

- (1) 明 細 書 1 通
 (2) 願 書 1 通
 (3) 特 許 状 1 通
 (4) 出願審査請求書 1 通

特 許 状
 出 願 審 査 請 求 書

明 細 書

1 発明の名称

人体の健康の維持、特に癌に対して機能を有する鉄錯イオン水の製造法

2 特許請求の範囲

鉄 (Fe) と硫酸 (H₂SO₄) と硫化鉄 (FeS) を含有する岩石を砕いて酸化させ、これを水溶液中に投入して攪拌した後、調整させて二価の鉄イオン (Fe²⁺) と三価の硫酸イオン (SO₄²⁻) と硫酸イオン (SO₄²⁻) と硫酸イオン (SO₄²⁻) を含む上澄液を採取し、この上澄液を濾過したことを特徴とする人体の健康の維持、特に癌に対して機能を有する鉄錯イオン水の製造法。

3 発明の詳細な説明

本発明は人体の健康の維持に欠くことができない鉄錯イオンを含有した鉄錯イオン水の製造法に関する。

本発明者は多量存在する鉄錯イオン中、人体の健康の維持に癌に対して機能を有する鉄錯イオンとして二価の鉄イオン (Fe²⁺) と三価の硫酸イオン (SO₄²⁻) と硫酸イオン (SO₄²⁻) である

ことが長年の研究の結果得られた。本発明者はこの理由を二価の鉄イオン (Fe²⁺) と三価の硫酸イオン (SO₄²⁻) と硫酸イオン (SO₄²⁻) との相乗作用によるものであると考えている。

本発明はこの相乗作用により癌に対して機能を有する二価の鉄イオン (Fe²⁺) と三価の硫酸イオン (SO₄²⁻) と硫酸イオン (SO₄²⁻) を含有する鉄錯イオン水の製造方法を提案するものである。鉄 (Fe) と硫酸 (H₂SO₄) と硫化鉄 (FeS) を含有する岩石を砕いて酸化させ、これを水溶液中に投入して攪拌した後、調整させて二価の鉄イオン (Fe²⁺) と三価の硫酸イオン (SO₄²⁻) と硫酸イオン (SO₄²⁻) を含む上澄液を採取し、この上澄液を濾過して鉄錯イオン水を製造する方法である。

このようにして製造された鉄錯イオン水を次の例、または飲料水等に加えて服用したとる。胃癌、十二指腸癌、子宮癌、肺癌、肝癌、膀胱癌等の癌が有効し、しかも糖尿病、心臓病、高血圧、喘息、神経痛、リウマチ等にも機能を有することが得られた。また、この鉄錯イオン水を美

424-620

クリームに添加して皮膚からのイオンの透過を防ぐこと、鉄イオン液を含まない美容クリームと比べシミ、小ジワ等の防止が著しいことが認められた。

上記鉄イオン液の製造法に於いて岩石に含有されている鉄(Fe)は酸化されることにより二酸化鉄(Fe₂O₃)となるがこれは従来して上記上役液中に存在せず、二価の鉄イオン(Fe²⁺)のみが鉄イオン液に含有される。

また、岩石に含有されている砒素(As)はアヒゲの砒素イオン(As³⁺)であるとき有害であるが酸化することにより砒の砒素イオン(As⁵⁺)になり、砒素イオン液に含有されており、実験の結果人体に影響するなどの毒性がないことが認められた。岩石に含有されている硫化鉄(FeS)は酸化し硫酸鉄(FeSO₄)となり、水液を加えることにより硫酸イオン(SO₄²⁻)が鉄イオン液に含まれ、また、硫酸鉄(FeS)は酸化水素(H₂S)または硫化鉄(FeS₂)ともなり酸化水素(H₂S)は非常に多いときは腐け

特開第51-88620号
るが硫化鉄(FeS₂)は腐けを以ては避ける。

以下本発明の実施例を述べる。

実施例1

鉄(Fe)と砒素(As)と硫化鉄(FeS)を含有する無害岩(宮城県栗原郡黒崎町文字二本木産出)を300メッシュに粉砕し、これを6ヶ月から8ヶ月の間密封を避けた風通しの良いところで晾干して酸化させる。この岩石を約5割の蒸留水に投入して攪拌し8.0時間から3.6時間静置させ液を待つ。その後にこの水液の表面に浮上したカス状の固塊を取り除くとライムグリーン色を呈した上澄液が基液に凝縮しているのでこれを濾過して鉄イオン液を製造する。この鉄イオン液を日本茶、コーヒー、紅茶等(タンニンを含む飲料水)に添加して服用するには鉄(Fe)とタンニンにより黒色の加色付色を呈し見掛けが悪いので重炭酸ナトリウム(NaHCO₃)を添加して白色にする。故重炭酸ナトリウム(NaHCO₃)の添加によって鉄イオン液の効能が損なわれることはなかった。

実施例2

上記実施例1と同様な方法により製造された鉄イオン液を配合力の小さなロー分(ステアリン、セチノール等)に添加して固形液として加圧処理を行なう。

これにより鉄イオン液中の鉄分をロー分中に取り出し、その後に配合力の大きなロー分(モノリヤライト等)を加えて加圧処理を行なう。このようにして製造された外用クリームは鉄イオン液の鉄分の一部に於いて分離現象が生ずることなく白色であり、皮膚の小ジワ、シミ等に対する効能がある。

出 願 人 吉 川 恒 明
代 理 人 弁 理 士 安 丸 興 一